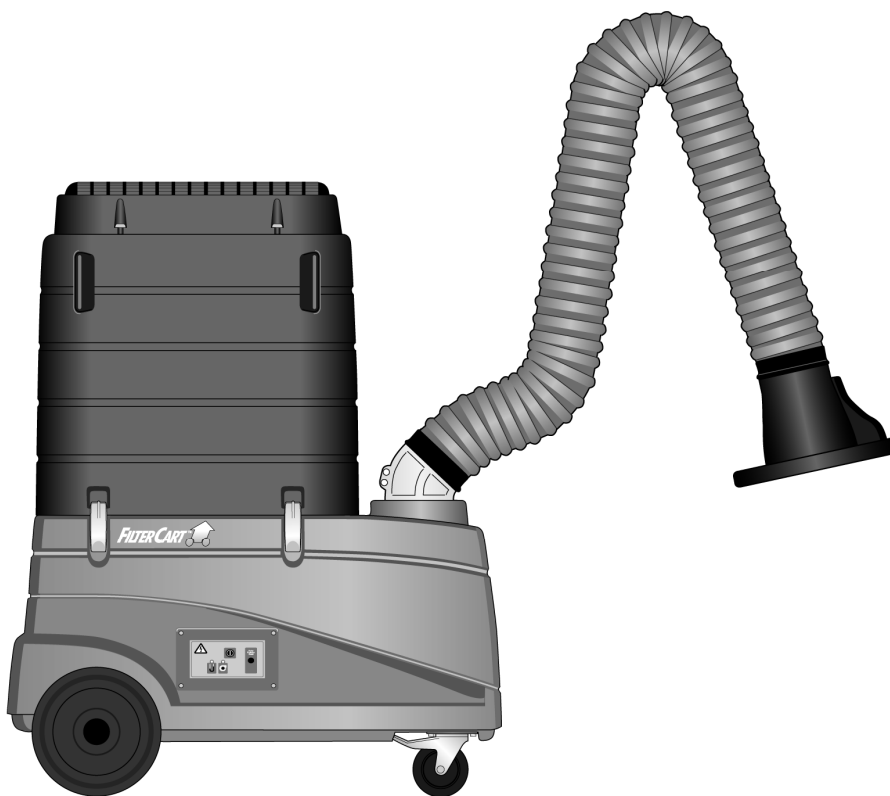


取扱説明書

フィルターカート

FCW-355 (50 Hz) ITEM No.R624545

FCW-356 (60 Hz) ITEM No.R624645



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、主に溶接ヒュームを吸引する装置です。なお、車両の排気ガスなどの吸引、水や油などの液体の吸引、多量の水分や油分を含む粉塵の吸引には使用できません。また、本製品で捕集することができるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。







この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。











- 移動や保管上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。










 注意	
	- 本製品を移動させる際には車輪のロックを外し、ホース部は持たずに本体後方を手で保持しながら行ってください。水平でない場所を移動させる場合、確実に手で保持していないと本製品が自然と動き出し危険です。
	- 本製品を移動させた後は必ず車輪のロックをしてください。
	- 本製品を移動させる場合には必ず電源コードとコンセントの位置を確認し、コンセントの届く範囲で行ってください。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

 警告	
	- 本製品は防雨型ではありません。故障や感電などの原因となりますので屋外での使用はおやめください。
	- 屋内で使用する際にも高温多湿になる場所での使用はおやめください。密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所で使用してください。
	- 本製品の不必要な分解や改造は行わないでください。充電部やモーター回転部などに接触し、事故や感電などの原因となります。
	- 本製品の内蔵フィルターを取外した状態での使用はおやめください。吸引した溶接ヒュームなどが濾過されずに大気中に放出され危険です。
	- 本製品の空気出口をふさぐことはやめてください。溶接ヒュームなどが吸引されず、作業者の健康を害する恐れがあります。
	- 本製品は防爆仕様ではありません。爆発や引火などの原因となりますので油庫内など可燃性雰囲気中での使用はおやめください。
	- 引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こします。下記のような粉塵を絶対に吸引しないでください。 引火性物質 : ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など 爆発性物質 : ニトログリセリンなど 発火性物質 : アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属 赤リン、黄リンなど
	- 本製品は水平な場所で車輪をロックして使用してください。車輪のロックをしていなかった場合、本製品が自然に動きだし危険です。
	- 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適切に行われないと本製品の性能が引き出せないばかりか、火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。

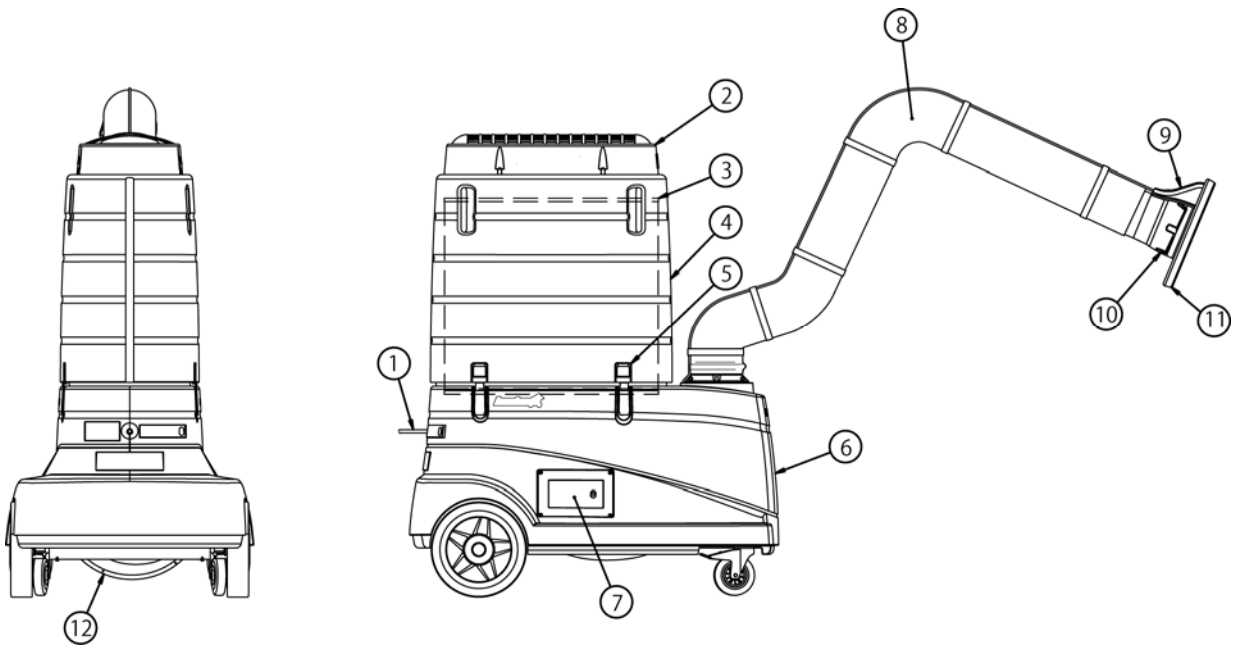
⚠ 注意

-  - 大きなウエスや新聞紙などは吸引しないでください。ホース内に詰まり、本製品が使用不能になる可能性があります。
-  - オイルや水分を多く含むゴミや粉塵などは吸引しないでください。
-  - 1分間以内に起動スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファンの故障の原因となります。
-  - 本製品の電源コードにはコードコネクタは付属していません。適合した三相 200V コードコネクタをご用意ください。
-  - 本製品の配線は電気の有資格者が行ってください。
-  - 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に当社指定のサービス担当によるメンテナンスを受けてください。
-  - 本製品の作動中は騒音が 73dB に達することがあります。長時間使用する場合は必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを装着してください。
-  - 有害な粉塵を吸引する場合やフィルターを交換する場合は、取扱いを誤ると微細な粉塵が大気中に飛散する可能性がありますので防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
-  - フィルターを交換する場合には、必ず電源を切り、コードコネクタをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
-  - 溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、ホースへの火花侵入による火災を防止するため必ずフードにスパークプロテクションフィルター（オプション品）を取付けてください。また、スパークプロテクションフィルターはその性能を維持させるため使用前に清掃してください。
-  - 使用済のフィルターは各自治体の条例などに従って廃棄してください。
-  - 本製品のアームを回転させる場合には、周囲に人やぶつかるものがないか確認してから行ってください。
-  - 本製品のアームの回転やフードの首振りにはホースを手で支えながらゆっくり行ってください。勢いよく行いますと、ホース内面がアームに擦れてホースの損傷の原因となります。
-  - 本製品を初めて使用する際には、必ずファンの羽根の回転方向を確認してください。適切な回転方向でない場合、インジケータ C の LED ランプが赤点灯するとともにアラームが鳴ってファンは起動しません。
-  - 本製品は溶接ヒュームの吸引・濾過を目的としているためガスの濾過はできません。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 移動や保管上の注意	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称及びパーツリスト	1
2. 移動・保管	
2.1 移動	2
2.2 保管	2
3. 使用方法	
3.1 使用前の準備	3
3.2 使用上の注意	5
3.3 コントロールパネルの表示について	6
3.4 フィルターの交換	8
4. 保守・点検	
4.1 メンテナンス	9
4.2 消耗品など	9
5. 仕様	10
6. 製品保証登録シート	11
7. 保証規定	12

1. 各部の名称及びパーツリスト

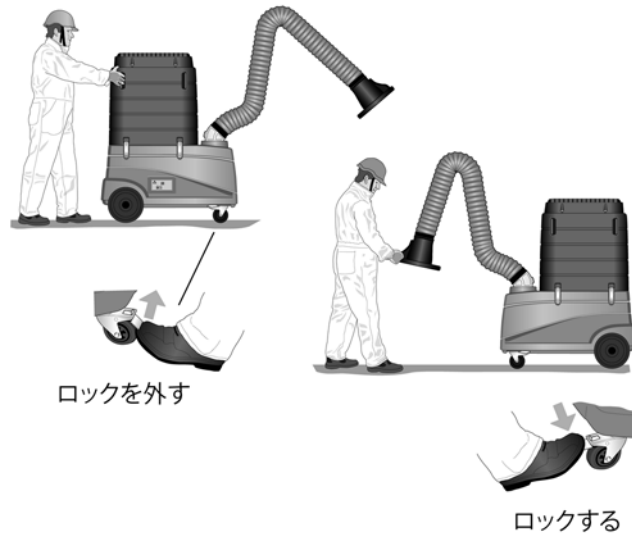


番号	製品番号	名称	員数	備考
1		電源コード	1	4芯, 5m
2	R374110	トップカバー	1	
3	R374023	FCWフィルター	1	W3用
4	R374109	フィルターカバー	1	
5		カバーロック	4	
6		本体	1	
7	R374127	コントロールパネル	1	
8	R333026	ホース	1	φ 160, 3m
9		ライトキット	1	AC24V, 7W
10		アミ	1	
11	R374083	フード	1	
12		ファン	1	三相, 200V, 0.9kW(50/60Hz)

2. 移動・保管

2.1 移動

- 1) 本製品を移動するときは、本体前面の車輪のロックを外してから本体後部を押してください。
(左下図参照)
ホースを持ちながらの移動はホース内面がアームに擦れてホースの切れの原因になりますのでおやめください。
- 2) ホースの伸縮操作は、必ず車輪をロックしてから行ってください。
(右下図参照)



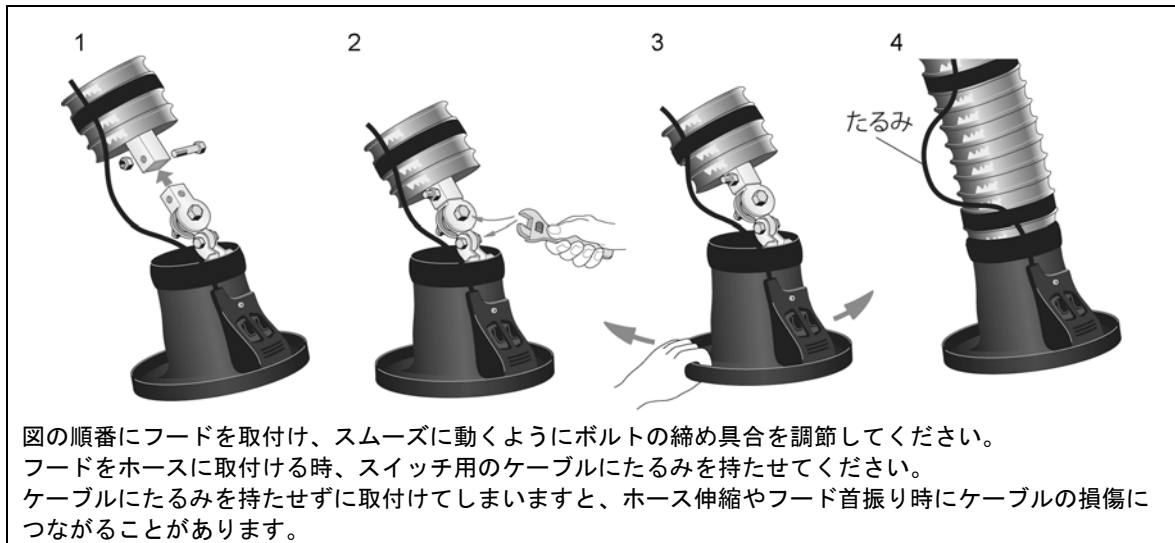
2.2 保管

- 1) 屋内の水滴などの当たらない場所に保管してください。
- 2) 周辺温度が-10~40℃、相対湿度が85%以下の場所に保管してください。(但し、結露しないこと)

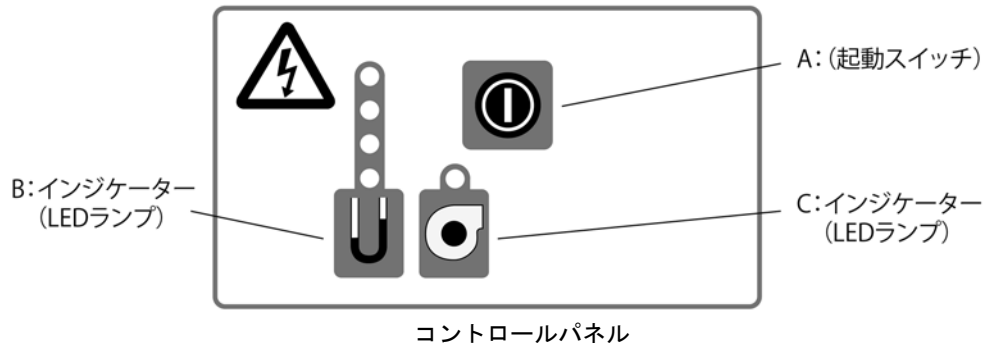
3. 使用方法

3.1 使用前の準備

- 1) フードを取付けてください。

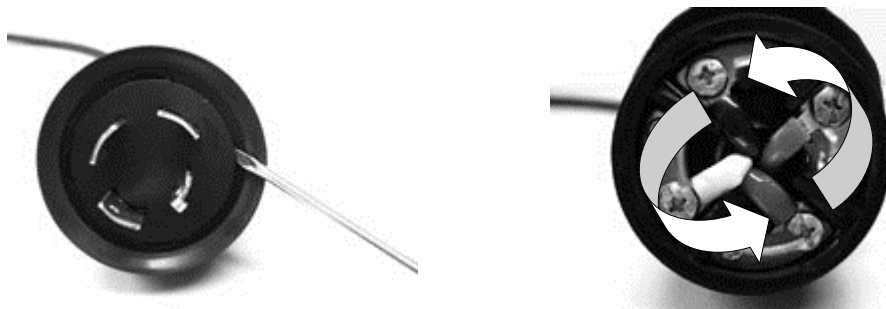


- 2) 輸送中に本製品本体やホースに損傷がないことを確認してください。
- 3) 本製品の銘板をチェックし、供給電圧（三相 200V）と同じであることを確認してください。
- 4) 電源コードにコードコネクタを取付けてください。その後、コードコネクタをコンセントに接続してください。コントロールパネルのインジケータ-B のLED が一瞬点灯し、アラーム音が短く鳴ります。インジケータ-B のLED（緑）が点滅します。これで準備完了です。

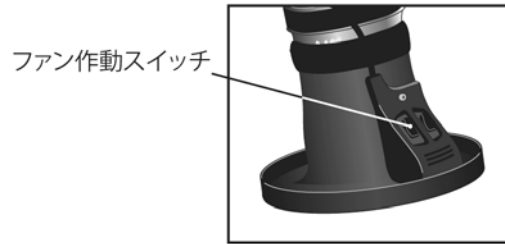


⚠ 注意

- ！ - コントロールパネルのインジケータ-C のLED が赤く点灯し、アラームが鳴っている場合は三相電源が逆相であることを示しています。（逆相防止リレーが作動しています。）
下記の写真にしたがってコードコネクタの蓋を外し、相を入れ替えてください。（赤色端子カバーと黒色端子カバーの電線を入れ替えてください。）
配線入れ替え後、再度電源プラグをコンセントに接続し、インジケータ-C のLED 消灯およびアラームが鳴らないことを確認してください。

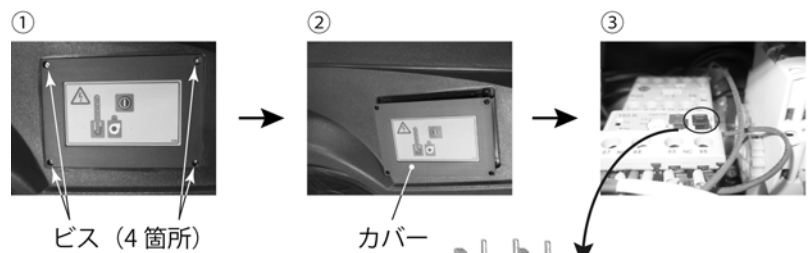


- 5) スイッチ A またはフードについているファン作動スイッチで本製品を動かします。インジケータ C の LED が緑に点灯していれば、本製品は正常に作動しています。

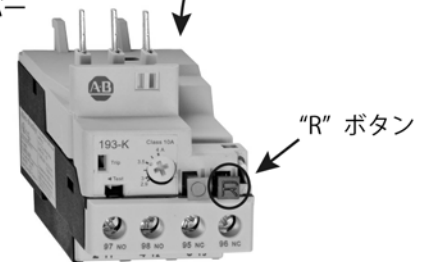


■過負荷防止装置について

ファンのモーターに過大な負荷がかかった場合、本製品が自動的に停止します。過負荷防止装置によって停止した場合、下記の手順で復帰させてください。






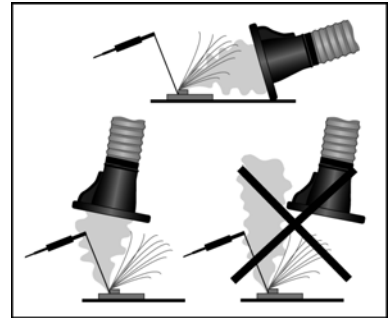
- a) 過負荷の原因を取除いてください。
- b) コントロールパネルのビス (4 箇所) をトルクスドライバー (T15) で外してください。 (①)
- c) カバーを取外してください。 (②)
- d) 青色の “R” ボタン (R マーク) を押し、しばらくすると本製品が使用できる状態に戻ります。 (③)
(“O” ボタンは押さないでください。)



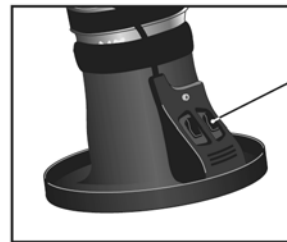
3.2 使用上の注意

⚠ 注意

- 
 - 本製品は屋内において溶接ヒューム（classW3）を吸引することを目的に設計されています。液体の吸引には使用しないでください。
- 
 - 怪我・火事・爆発の危険性があります。
 - ・本製品は防爆仕様ではありません。可燃性の雰囲気中でご使用になると爆発の危険があります。
 - ・粉塵を吸引する目的で、本製品を使用している場合、溶接ヒュームや研削屑の吸引はおやめください。
 - ・溶接ヒュームを除く有害物質を吸引する目的での本製品の使用はおやめください。
 - ・フィルターとフィルターカバーなしで本製品の使用はおやめください。
 - ・全体換気のない密閉されている部屋で本製品の使用はおやめください。
- 
 - 右図のように、火花を吸引しないようフードの位置を調整してください。ヒュームのみを回収できる位置で使用してください。

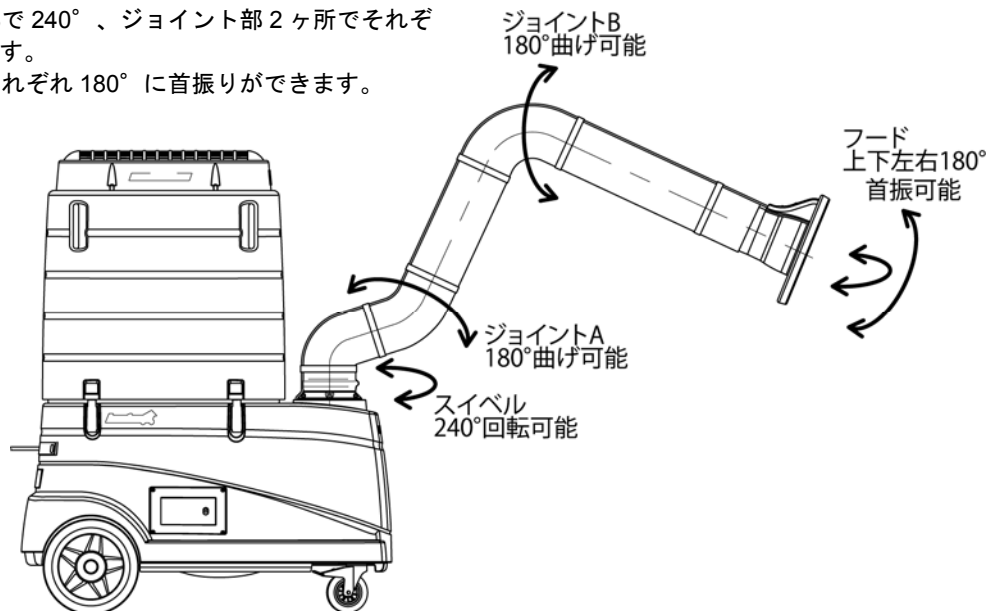


- 1) フードには便利なスポットライトが付いています。




スポットライト作動スイッチ

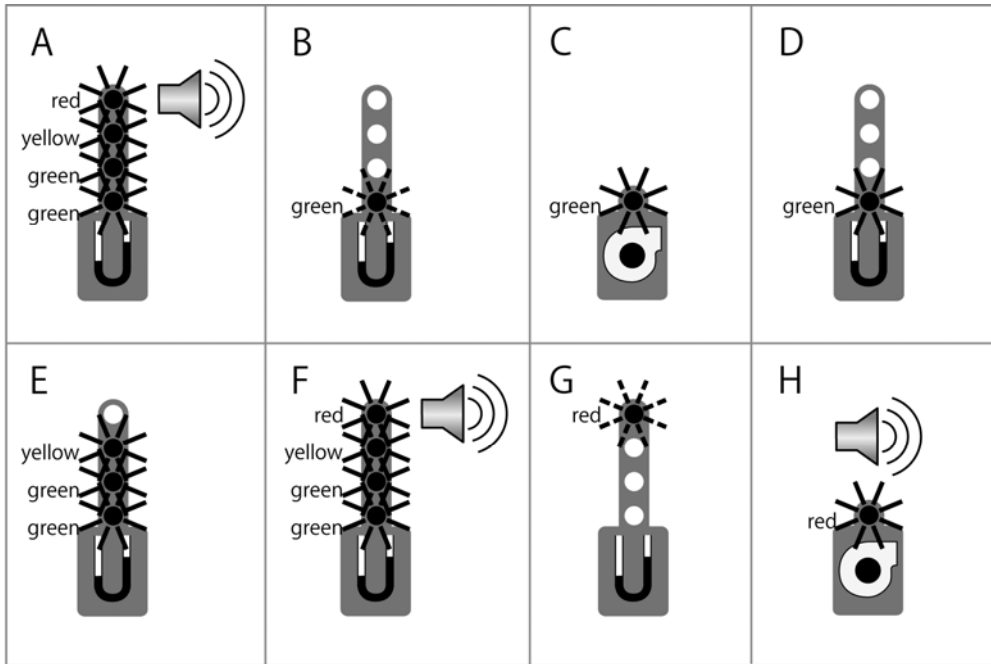
- 2) 本製品移動の際は車輪のロックを外してください。
ホースを希望の場所に設置したら車輪をロックしてください。
- 3) ホースはスイベル部で 240°、ジョイント部 2ヶ所でそれぞれ 180° 回転できます。
- 4) フードは上下左右それぞれ 180° に首振りができます。



⚠ 注意

- 
 - ホースの回転やフードの首振りはホースを手で支えながらゆっくり行ってください。勢いよく行いますと、ホース内面がアームに擦れてホースの切れの原因となります。

3.3 コントロールパネルの表示について



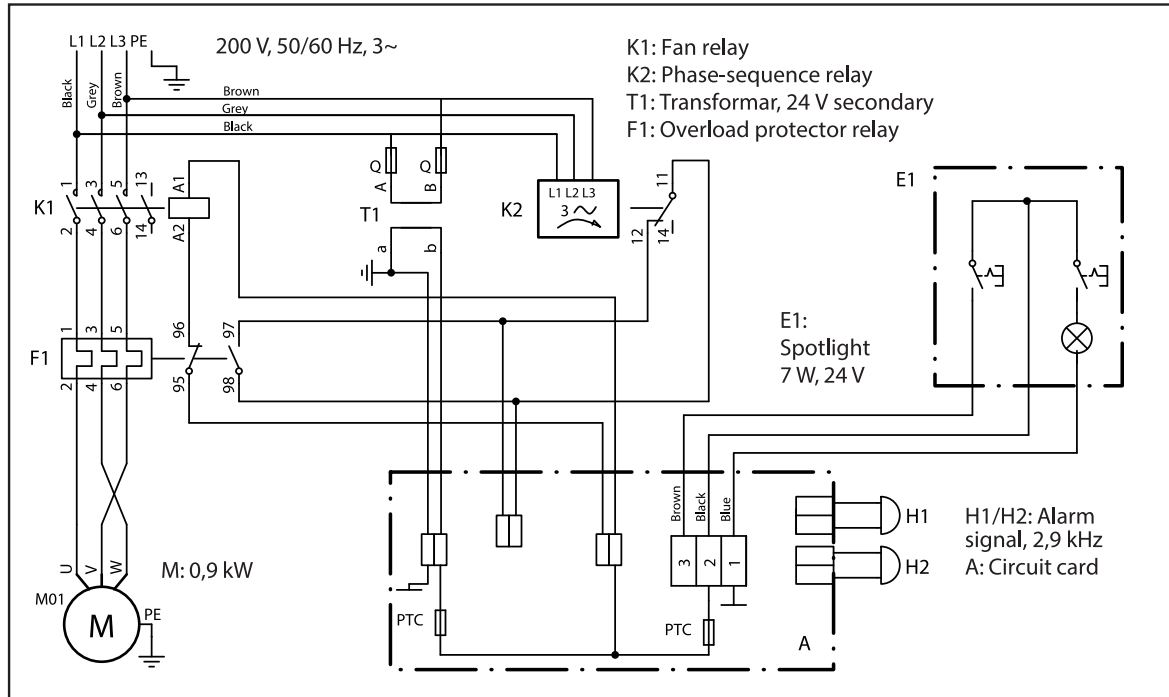
- A. コードコネクターをコンセントに差込むとLEDが一瞬点灯し、アラームが短時間鳴ります。
- B. LEDが緑に点滅：本製品に正常に電源が供給されています。（準備完了）
- C. 本製品が作動を開始するとLEDが緑に点灯、ファンが稼働します。
- D. 本製品が準備状態になると、LEDは緑に点灯します。しばらく使用した後、吸引力が低下（圧力損失が増加）したら、フィルター交換時期です。
- E. インジケータのLEDが黄色に点灯：圧力損失増加。フィルター交換の予告です。
- F. LEDが赤く点灯し、約30秒後にアラームが断続的に鳴ります。フィルターを交換してください。
- G. LEDが赤く点滅している＝アラームが保持されています。フィルターを交換しなくてはなりません。
- H. LEDが赤く点滅し、アラームが断続的に鳴り始めます。過負荷防止装置が作動していますので原因を調査し、P.4の【■過負荷防止装置について】に従って復帰させてください。

■フィルターの交換について

※フィルターを交換する前に作業を再開したい時は、スイッチ A を 1 回押すとアラームを止めることができます。アラームは約 10 分後に再び鳴り始めます。

※スイッチ A を 2 回押すとファンを止められます。フードについているファン作動スイッチでもファンを止めることができます。

配線図



3.4 フィルターの交換

フィルターは使い捨てです。再利用はできません。

⚠ 注意



- フィルター交換時には、怪我（手を切る等）に注意してください。

フィルターの寿命は、条件により異なります。

（吸入するガスの種類等）

コントロールパネルの圧力損失インジケータ-B をこまめにチェックして、フィルターの交換時期を確認してください。フィルター交換時期以前でも、ホースやフードの損傷は常にチェックしてください。

必要に応じて手袋、保護メガネ、防塵マスクを着用してください。

下記の要領に従って、フィルターを交換してください。

- 1) 主電源をコンセントから外してください。
- 2) カバーロックを外し、フィルターカバーを取外します。
- 3) 新品のフィルターに付属しているポリ袋を使い、使用済みフィルターに被せます。
- 4) フィルターと本製品の接触面をウェス等でふき取ってください。ウェス等はフィルターと一緒にポリ袋に入れバンドで密封してください。
- 5) 収集された物質はフィルターと共に産業廃棄物として処理してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。
- 6) 差圧センサー用ホース（制御部につながっている）に亀裂がなく、確実に取付けられていることを確認します。
- 7) 新品のフィルターが破損していないことを確認します。フィルター下面のシール部分にも傷等がないことを確認してください。確認後、新品のフィルターを本製品に取付けます。
- 8) フィルターカバーを置き、カバーロックで確実に取付けます。
（締付力は調整可能）



※カバーロックの調整方法



つまみを左回り（反時計回り）に回すと、締付力が強くなります。



つまみを右回り（時計回り）に回すと、締付力が弱くなります。

4. 保守・点検

4.1 メンテナンス

少なくとも1年に1回を推奨します。

警告



- メンテナンスを行う場合、必ず主電源をコンセントから抜いてください。



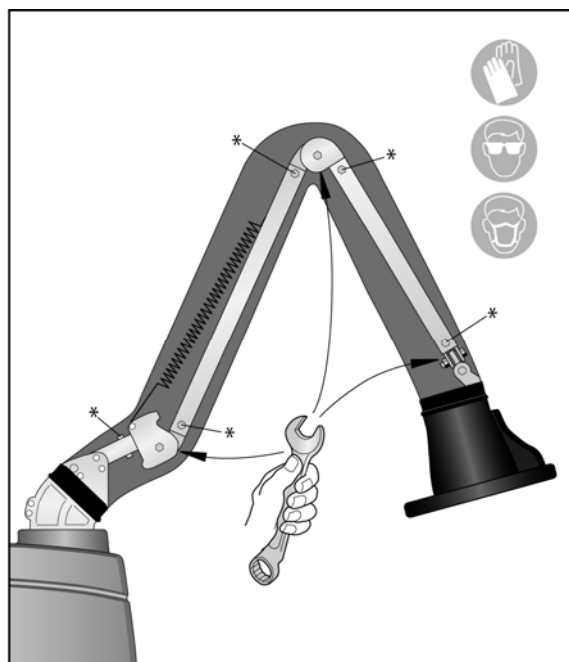
- 怪我をする危険がありますので十分注意してください。

注意



- 必要に応じて手袋・保護メガネ・防塵マスク等を使用してください。

- ・ フィルターを交換してください。
(オプション：HEPA フィルターを含む)
- ・ 本製品の吸込み量を確認してください。
- ・ ホースに切れや劣化がないかチェックし、必要に応じて交換してください。
- ・ ファン入り口のホースに切れや劣化がないかチェックし、必要に応じて交換してください。
- ・ ファン入り口のアミに異物が引っかかっていることを確認してください。
- ・ 差圧センサー用ホース（制御部につながっている）に亀裂がなく、確実に取付けられていることを確認します。
- ・ 必要に応じて、フード・ホースの動き具合を調節してください。（右図参照）
- ・ 電源コード、ファンモーター接続コードに損傷等がないことを確認してください。
- ・ フィルターカバーがカバーロックにより確実に取付けられていることを確認してください。
- ・ 必要に応じて★印の個所の締付力の調節をしてください。



4.2 消耗品など

■消耗品

製品番号	名 称	仕 様
R374023	FCWフィルター	難燃性セルローズ製, 表面積=35㎡ 濾過率=99%
R333026	ホース	φ160, 3m
	ライトキット	AC24V, 7W

■オプション

部品番号	名 称	仕 様
R375241	スパークプロテクションフィルター	溶接ヒューム（火花防止）用
R374016	HEPAフィルター	高性能ファイナルフィルター 濾過率=99.9%

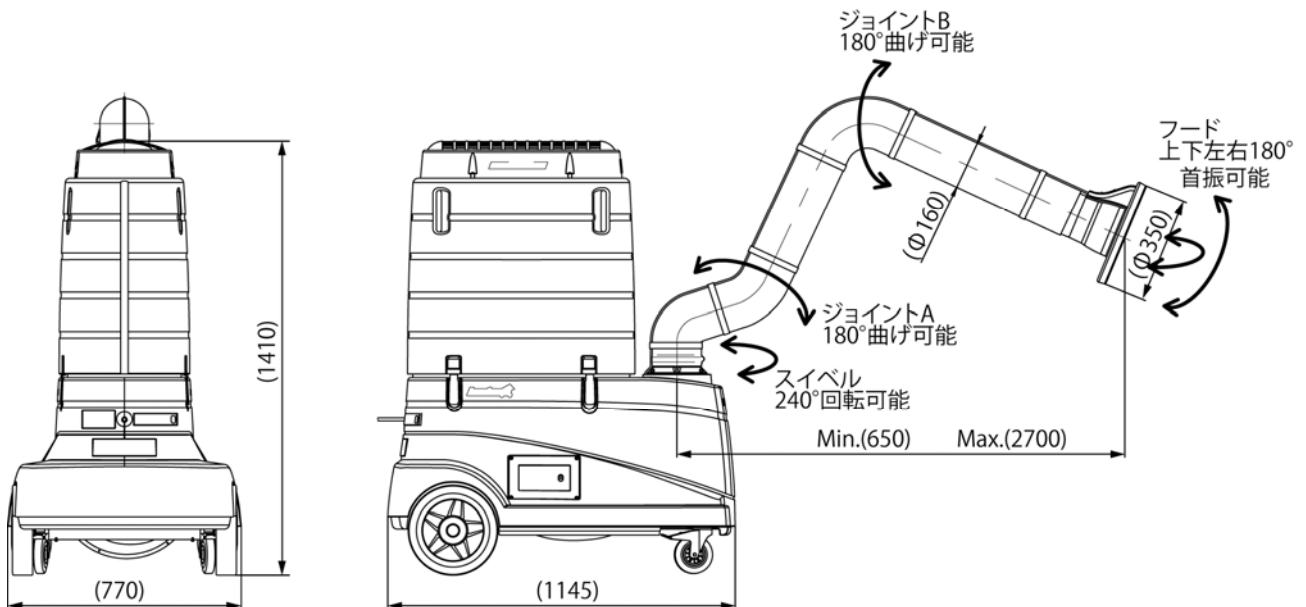
5. 仕様

■仕様

製品名称	フィルターカート	
製品型式	FCW-355	FCW-356
製品番号	R624545	R624645
電源	三相 AC200V	
電源周波数	50 Hz	60 Hz
製品推奨使用風量	600 ~ 1050 m ³ /h	
ファンモーター出力	0.9 kW	
ファン定格電流値	3.8 A	
IEコード又は効率基準	IE3	
最高吸引温度	60°C	
FUCフィルター表面積	35 m ²	
FUCフィルター濾過率 ※	99 %	
質量	75 kg	
騒音	73 dB	

※メーカー試験による(テスト粉末：石英粉末、平均粒子径：2μm)

■主要寸法



6. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人保護方針 に 基づき 適切な 安全対策 のもと 管理し、お 客様の 同意なく 第三者へ 開示、提供 いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

7. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. **保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
2. **保証内容**：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. **適用除外**：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
 - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - (11) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類
4. **補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものににつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2529 EXT021U